

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 6日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」平塚校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	2	パーテーションで区切っている。利用者に合ったスペース作りを一人ひとりに合わせて設定している。	法令を遵守したスペースを確保しているが、声が漏れる状況があるため、支援内容に応じ、スペースを考慮している。
	②	職員の配置数は適切である	1	2	常勤3名を配置している。	法令で必要とされる配置数は満たしているが、利用者の方の数の増加に伴い、配置数の増加を希望している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	2	プログラム表やカードで視覚提示し、構造化された環境作りをしている。机の角をクッション材で保護し、危険防止に努めている。	段差の箇所があるため、段差が分かりやすいよう、色テープで視覚化している。場所の移動がある際は指導員がつくようにし、安全面の配慮が行われるようにしている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	0	日々の清掃・消毒・換気に努めている。利用者の特性や課題に合わせた支援スペースをご案内している。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	0	日々の振り返りに加え、月次での会議・改善活動報告等を行っている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0	開所後、今回が初めてであるが、保護者向けアンケートを実施し、保護者様の意向の把握、業務改善に努めた。	

	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0	保護者向けアンケートの結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行っている。	HPで結果を公開するとともに教室に結果の掲示を行う。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3	第三者による外部評価は行っていない。	今後は検討していく、
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	発達支援研究所の定例研修、指導員勉強会、初任者研修、児発管研修、外部研修に積極的に参加している。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	0	統一のアセスメントシートを用いて定期的にアセスメントやモニタリングを行っている。事業所内相談支援を定期的に行い、保護者のニーズをお聞きし、児童発達支援計画を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0	法人で定められたアセスメントシートを用いている。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	0	児童に必要な支援を選択し設定をしており、その上で具体的な支援内容を設定している。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	0	支援計画に沿った支援内容について、随時検討する場を設けている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	日々の情報交換を密に行い、共通理解をすることで、支援プログラムの立案をチームで行っている。	

	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0	支援プログラムについては、固定化しないよう、職員間で情報交換を密に行い、日々の教材研究を行っている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	3	0	児童の状況やニーズに合わせ、状況を見ながら個別・集団の療育を組み合わせている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0	前回の利用者の様子や取り組みの内容、保護者の方とお話の内容を踏まえて支援を行うことができるよう、打ち合わせを行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0	業務に合わせ、ミーティングの実施をしている。職員相互の情報共有を円滑するためのツールも適宜活用している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	毎回の支援の記録をとり、支援の検証・改善につなげている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	0	6か月のモニタリング期間にこだわらず、状況が変化した際には支援計画の見直しを行っている。	
関係機関 関 や 保	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	コロナ禍のため、電話や zoom での会議も活用し、実施している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	0	保護者の要望に応じ、行政の発達支援室や幼稚園・保	

護 者 と の 連 携				育園への関係機関連携の実施をしている。		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	0	保護者との連携を取りながら支援を行っている。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	0	協力医療機関との連絡体制は随時整えている。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	0	環境の変化や入園に向けて保護者への丁寧な傾聴時間を設けている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	0	環境の変化や就学に向けて保護者への丁寧な傾聴時間を設けている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	0	発達支援研究所の助言や研修を受けている。他の専門機関との連携をとるようにしている。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	2	児童同士の交流は現状実施していない。コロナ禍の中、感染予防に配慮しながら必要に応じて情報交換を行っている。	コロナ禍の現状、個別療育を基本としていることから児童同士の交流の場は設けていないが、在籍児童の通園している園への連携訪問を通し、情報交換等行っていく。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	2	平塚市の連絡協議会に加盟。コロナ禍のため、個別に連絡を取り、情報交換を行う活動を積極的に行った。	コロナ禍ということもあり、対面での積極的な活動参加ができない状況もあるが、今後も情報交換に努めていく。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	毎回の支援後のフィードバックの他に、事業所内相談支援を行い、児童の発達の状況につ	

				いて共通理解が持てるよう努めた。	
	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	3	0	定期的に事業所主催の講演会を行い、支援グッズの作り方や家庭での療育法等、保護者の対応力の向上を図る支援（ペアレントトレーニング）を行っている。
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0	契約時に保護者に説明を行い、理解を得ている。また、教室にも常時掲示し、閲覧できるようにしている。
	㉒	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	0	6か月ごとにモニタリングや個別支援計画の作成を実施し、内容について保護者に説明し、同意を得ている。
	㉓	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	毎回の支援後のフィードバック時や事業所内相談支援を可能な限り定期的に行い、相談に応じ、必要なアドバイスと支援を行うようにしている。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	0	保護者会を定期的で開催している。講演会のテーマに沿った内容で、家での実践や経験談を話し合ったりし、保護者同士の連携を支援している。

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	通所時はもちろん、LINE、メール、電話等での相談を随時受け付けている。状況に応じ迅速かつ適切に対応するよう努めている。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0	月に1回の「きらり通信」の発行他、個別のカレンダーを作成し、予定の確認を行っている。また、ブログ、SNSを活用し、活動概要等の発信を行っている。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	3	0	利用者の個人情報はファイル管理した上で施錠できる書庫で保管している。また随時職員向けの研修も行っている。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0	視覚提示や動作での提示、音楽を用いた支援を行っている。保護者の方には状況に応じ、口頭だけでなく、メモやプリント、メールやLINEでの配慮も行っている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	0	地域の学習支援ボランティアの団体の方へ向けて、zoomにて「発達障害について」理解を深める講演会を行った。	
非常時	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	0	月に1回の防災訓練を実施し、緊急災害等に備えている。また、毎月の	

等 の 対 応				防災計画を教室掲 示している。		
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練を行っている	3	0	月に1回の防災訓 練を実施し、緊急 災害等に備えてい る。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの 状況を確認している	3	0	契約時に保護者か ら情報をお聞き し、基本情報シー トに記入いただい ている。支援に入 る前に情報の確認 を行っている。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に 基づく対応がされている	3	0	食事の提供はない が、契約時に必ず 聞き取り、基本情 報シートに記入い ただき、情報を職 員間で共有してい る。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有してい る	3	0	その都度ヒヤリハ ット表に記入し、 対策を検討してい る。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしている	3	0	虐待防止委員会が 組織化されてい る。全職員で研修 に参加し、適切な 対応が取れるよう にしている。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについ て、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に 説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載 している	3	0	身体拘束の基準を 重要事項説経書に 記載し、契約時に 保護者に説明して いる。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」平塚校 保護者等数（児童数）：14 回収数：14 割合：100 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	0	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	13	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・発語のない子どもに音楽療法を学ばせることができ、とてもありがたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法令で必要とされている配置数、資格を持った職員の配置をいたしております。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚支援があり、わかりやすいと思います。 ・初回に教えていただいてから2回目以降はすぐに流れを覚えていたので、とても分かりやすいと思います。 ・バリアフリーではありませんが、危険や不都合がある際には介助してくれます。 ・他のスペースで活動している児童に話しかけられたことがあったため、どちらともいえない。 ・質問の中に「障害の特性」とありますが、うちの子どもは障害や病気は無いので質問の内容に気をつけてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に集中できるよう構造化された環境設定を心がけています。また、視覚支援でカードを用いたり、プログラム表で提示することで見通しがもてるよう、情報伝達等への工夫をしています。 ・段差の箇所があるため、段差が分かりやすいよう、色テープで視覚化しています。場所の移動がある際は指導員がつくようにし、安全面の配慮が行われるようにしております。 ・教室の構造上パーテーションでの区切りとなっております。利用の調整をしております。 ・厚生労働省の「児童発達支援ガイドライン」で定められた様式を使用いたしております。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの作った制作物がとてもにぎやかで、かわいいです。 ・清潔に保たれています。 	

適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	14	0	0	0	・細かく丁寧に説明していただき、支援内容を理解できて、とても嬉しいです。	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	0	0	0	・適切に対応していただいていると感じます。	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14	0	0	0	・適切に対応していただいていると感じます。	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	1	0	1	・その都度考えていただき、こんなことをしてみましようかと提案してもらっています。遊びの中で（家でもできそうなもの）できることを教えていただき、日々の不安がとても減りました。 ・まだ通所して日が浅いのでわからない部分もありますが、いろいろな制作や活動が工夫されていると思います。	・プログラム順は構造化のため、ある程度流れを固定化しておりますが、内容については個別支援計画に沿って多角的な活動を取り入れています。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	2	3	1	・コロナ禍のため、保育園側が積極的ではないです。 ・③と同じですが、うちの子どもに障害があるかのような文章はやめてください。	・コロナ禍の現状、個別療育を基本としていることから児童同士の交流の場は設けておりません。在籍児童の通園している園への連携訪問を通し、情報交換等行ってまいります。 ・厚生労働省の「児童発達支援ガイドライン」で定められ

							た様式を使用いたしております。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	0	0	0	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援内容」と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	14	0	0	0	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	10	0	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな遊びが何の支援に繋がるか等、教えてもらい、家での遊びに取り入れることができます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・些細なことも聞いていただき、より良い方向に向かうようにアドバイスをいただいています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回丁寧に困っていること等を聞き取りしていただき、的確なアドバイスをもらい、とても助かっています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	1	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・今月初めて参加させていただいたので、とても楽しみにしています。参加できなかった話も個別に教えていただき、とてもありがたいです。 ・参加していませんが、案内はきちんとされています。
							<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内相談支援の際にご家庭でできる療育法について個別にお話させていただき、心掛けています。また、ご希望の方にご参加いただき、定期的に事業所主催の講演会を行い、支援グッズの作り方や家庭での療育法等、保護者の対応力の向上を図る支援（ペアレントトレーニング）も行っております。 ・毎回の支援後のフィードバックの他に、可能な限り事業所内相談支援を行い、児童の発達の状況について話し、保護者と共通理解が持てるよう努めております。 ・定期的に保護者会を開催しており、ご希望の方にご出席いただいております。講演会のテーマに沿った内容で、家庭での実践や経験談を話し合ったりする機会を設け、保護者同士の連携を支援させていただいております。

	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13	0	0	1		・通所時はもちろん、LINE、メール、電話等のご相談を随時受け付けております。状況に応じ迅速かつ適切に対応するよう努めております。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14	0	0	0	・毎月の会報やSNSのアップで活動概要や行事予定を把握しています。「きらり通信」を楽しみにしています。	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	14	0	0	0		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	10	1	0	3		・防災委員会が組織化されており、それぞれのマニュアルについて策定いたしております。月に1回の防災訓練を実施し、計画を教室掲示しております。きらり通信やブログで地震の防災訓練の様子をお伝えしてまいりました。今後はさらにわかりやすく周知いたしてまいります。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	0	0	0		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	14	0	0	0	・毎回とても楽しみに落ちて参加させてもらっています。 ・言葉の理解はありませんが、きらりの「写真カード」を見せると笑顔になります。	

						・前日からとても楽しみにしています。	
⑭	事業所の支援に満足しているか	14	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談等しやすく、親身な対応で助言をしてくださるので満足しています。 ・とても満足しています。きらりに通い始めてから、私自身も心強くなったというか、一緒に寄り添って考えていただいて、とても救われています。 ・親切・丁寧に対応していただき、信頼が持てます。 	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。